

外部給電の嬉しさ～非常時編～

# 災害時大切なのは 自分で身を守るやで



## 給電システムを使えるクルマから、 一般家庭約4日分の電力を供給できるんよ!

(プリウスPHVの場合)



スマートフォン(10W×4台)  
家族4人分なら

満充電  
約1000回分<sup>※2</sup>



ハロゲンヒーター(500W)なら

約80時間<sup>※4</sup>

最大出力  
**1500w**



ライト・照明(100W)なら

約400時間<sup>※3</sup>



電気ポット(700W)なら

約57時間<sup>※5</sup>

Photo:A.ボディカラーはスピリテッドアクアメタリック(791)。

トヨタの給電システムは、ミニバン・ワゴン・セダン・コンパクト・SUVと様々な車に搭載。



いざという時に  
給電システムがあると  
ほんま安心やね!

停電時に給電システムで利用したい

電化製品 TOP3

- 1位 携帯・タブレット・・・67.5%
- 2位 照明機器・・・50.5%
- 3位 暖房機器・・・43.7%

※外部給電機能インターネット調査より(2020年3月)

### 防災の基本は自助努力やから、今から備えとこや!

※1 プリウスPHVが外部供給できる電力量(満充電・ガソリン満タン時):約40kWh(=約40,000Wh、以下同様)。一般家庭が日常使用する電力量:1日あたり10kWhとして試算した場合。※2 スマホ(10W)1台を満充電にするために必要な電力量:10W×1h=10Wh。4台のスマホ(10W)を満充電できる回数:プリウスPHVが外部供給できる電力量40,000Wh÷40Wh=約1,000回で計算。※3 ライト・照明(100W)1灯を1時間点灯させるために必要な電力量:100W×1h=100Wh。ライト・照明(100W)1灯を点灯できる時間:プリウスPHVが外部供給できる電力量40,000Wh÷100Wh=約400時間で計算。※4 ハロゲンヒーター(500W)1台を1時間稼働させるために必要な電力量:500W×1h=500Wh。ハロゲンヒーター(500W)1台を稼働できる時間:プリウスPHVが外部供給できる電力量40,000Wh÷500Wh=約80時間で計算。※5 電気ポット(700W)1台を1時間稼働させるために必要な電力量:700W×1h=700Wh。電気ポット(700W)1台を稼働できる時間:プリウスPHVが外部供給できる電力量40,000Wh÷700Wh=約57時間で計算。■電気製品の消費電力は一般的な目安です。製品の種類や大きさなどにより消費電力は大きく異なる場合があります。また、立ち上がり時などは瞬間的に電力を大量に消費します。■実際のご使用時はバッテリー残量によって給電可能時間が異なります。■消費電力の合計が1,500W以下の電気製品をご使用ください。ただし、電気製品によっては消費電力の合計が1,500W以下の場合でも正常に作動しない場合があります。■リチウムイオンバッテリーの充電量が少なくなると、停車時でもエンジンがかかります。■一部の自治体では、駐車または停車中にエンジンを始動させた場合、アイドリングストップに関する条例にふれるおそれがあります。関係する自治体に確認の上で、適切にご使用ください。

対象車種や操作方法など、詳しくは販売店スタッフまでお尋ねください。